

## 第11回「演習課題への取り組み(2)」

### レポートを作成する

#### レポートとは

- 感想文は、自分の経験や自分の気持ち・感情を書き表したもの(主観的な見方)
  - 印象に残った事柄・文章とその理由を述べる
  - 「もし自分なら」「こういう状況なら」など仮定して考えてみる
- レポートは、調査や実験の結果わかった『事実』と、それに基づく自分の『意見』をまとめたもの
  - 事実: 内容が本当かどうか(真か偽か)客観的に確かめられる
  - 意見: 書き手の考え(判断、推測)をあらわしている(客観的な事実に基づく)

#### レポート作成の手順(タイトルの決定から資料の収集へ)

##### 1. 背景の把握

- 大まかなテーマに関する基本的な情報を集める(新聞、インターネット、事典など)
- テーマとなっている問題や課題について、全体像や大まかな内容を理解する

##### 2. 問題提起

- (与えられた)大きなテーマから、具体的なテーマに絞り込む
- 社会的な問題点や疑問点、興味・関心のある具体的な事柄、また明らかにしたいと思う事柄を明確にする

##### 3. 仮説の提示・主張

- それらの事柄への対応策・解決策に関する自分なりの考えを仮説として述べる
- また、調査や研究の必要性やその方針を検討する

##### 4. 主題(表題)の決定

- 問題提起や自分の仮説(主張)をもとに、その主張や内容が伝わる、具体的なタイトルを考える

##### 5. 資料の収集・整理

- 問題とした事柄や自分の仮説(主張)を裏付けるような、資料を収集する
- 専門図書や雑誌・論文など、具体的なテーマに関する文献(先行研究、参考文献)を集めて、整理する

##### 6. レポートの構成の検討、テーマの再検討

- 集めた資料をもとに、レポート全体の構成(アウトライン)を検討する
- 集めた資料から、テーマをさらに絞り込んだり、考えなおしたり、再検討する

### テーマを決める方策

#### 1. 「よくわからない」ような言葉が、テーマの有力候補

- 「興味があるだけ」ネタでは、思い込みがあったり、つまらないテーマになりがち

#### 2. 「問い」をたてる

- テーマの中でできるだけ焦点を絞り込み、表題だけで主張や内容が伝わる、具体的な言葉を考える
- 「～について」は駄目(「自分の主張＝テーマへの問い」になっていない)
- 扱う問いは適切に(壮大すぎる問題、二者択一的な問題、専門的すぎる問題は避ける)

#### 3. テーマは絞り込んでいく

- 基本的情報(背景、キーワード) <社会的な問題、自分の興味・関心> 明らかにしたい課題(具体的テーマ)

## 自分の考えをまとめて相手に伝える 論理的な文章のまとめ方

レポートなどで、自分の考えを確実に相手に伝え、それを理解してもらうには、どうすればよいでしょうか。それには、「問題点を共有し、自分の考え(結論)とその理由を明確にする」ことが重要です。

### 「考えが伝わる文章」の構成

自分が一番伝えたいことを、相手に確実に伝える文章にするには、次の構成でまとめてみましょう。

1. 問題：ひとつの問題を示して問題意識を共有する

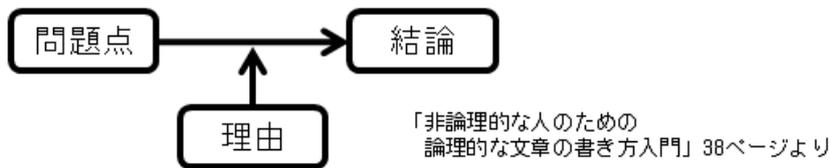
「～すべきかどうか?」「～どうすればよいか?」「なぜ～なのか?」

2. 結論：相手を一つの結論へ導く

「すべきである / すべきではない」「それには～がよい」「なぜなら～だからだ」

3. 理由：結論にいたる筋道を相手に理解してもらう

「なぜなら～だからである」



なお、「読みやすい文章」だからといって、それが「考えが伝わる文章」とは限りません。(エッセイ、コラムなど)

### 「自分の考え」を明確にする追加要素

基本形である「問題・結論・理由」に、次のような要素を加えると、さらに説得力のある文章になります。

- 理由を支える証拠：相手に理由を納得させる根拠を示す

「～について説明する」「～によると...」

- 反論への備え：反対意見を想定してそれに対する再反論を示す

「～という考え方があるが...」「～という反論があるかもしれない、しかし...」

- 結論の確認：全体をまとめる

## 参考文献

- 南田勝也・矢田部圭介・山下玲子「ゼミで学ぶスタディスキル」, 北樹出版 (2011.04)
- 学習技術研究会編著「知へのステップ 第3版」, くろしお出版 (2011.03)
- 中澤務・森貴史・本村康哲編「知のナビゲーター」, くろしお出版 (2007.04)
- 飯間浩明「非論理的な人のための論理的な文章の書き方入門」(ディスカバー携書 029), ディスカバー・トゥエンティワン (2008.12).
- 石坂春秋「レポート・論文・プレゼン スキルズ」, くろしお出版 (2003.03).
- 小笠原喜博「大学生のためのレポート・論文術」(講談社現代新書 1603), 講談社(2002.04).
- 泉忠司「90分でコツがわかる!『論文&レポート』の書き方」, 青春出版社 (2009.07).